

## I 第7週の発生動向 (2016/2/15~2016/2/21)

- インフルエンザについては、弘前保健所管内で**注意報**が解除されました。八戸保健所、東地方+青森市保健所、むつ保健所管内では**警報**が続いています。また、五所川原保健所、上十三保健所管内では**注意報**が続いています。
- 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が発令されました。
- 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で第1週から**警報**が続いています。

## II 第7週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	289	22.23	130	8.67	190	12.67	119	17.00	251	27.89	241	40.17	1220	18.77	-423	
小児科	RSウイルス感染症		1	0.11									1	0.02	-3	
	咽頭結膜熱	1	0.13	2	0.22	11	1.10	2	0.40				16	0.38	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	2.00	17	1.89	30	3.00	2	0.40	2	0.33		67	1.60	-17	
	感染性胃腸炎	35	4.38	26	2.89	30	3.00	7	1.40	21	3.50	23	5.75	142	3.38	2
	水痘			1	0.11	1	0.10			3	0.50		5	0.12	-3	
	手足口病			1	0.11			1	0.20				2	0.05	1	
	伝染性紅斑	2	0.25							1	0.17	4	1.00	7	0.17	-4
	突発性発しん	2	0.25			8	0.80			1	0.17		11	0.26	0	
	百日咳														0	
	ヘルパンギーナ														0	
眼科	流行性耳下腺炎	32	4.00	1	0.11						2	0.50	35	0.83	20	
	急性出血性結膜炎														0	
基幹	流行性角結膜炎	2	1.00			5	2.50		2	1.00			9	0.82	0	
	クラミジア肺炎														0	
	細菌性髄膜炎	1	1.00										1	0.17	1	
	マイコプラズマ肺炎					5	5.00				1	1.00	6	1.00	-4	
	無菌性髄膜炎	1	1.00										1	0.17	1	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1	1.00	7	7.00	8	1.33	7		

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、八戸1人、五所川原1人(2016年計:35人)
- E型肝炎(四類全数把握疾患): 五所川原1人(2016年計:4人)
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患): 上十三1人(2016年計:5人)

## IV 病原体検出情報 ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日です。

- インフルエンザ患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、H28.1/4~H28.1/31)・・・インフルエンザウイルスAH1pdm09: 弘前9人、八戸3人

# 感染症の窓

## インフルエンザ(五類定点把握疾患)

2015/16シーズン④

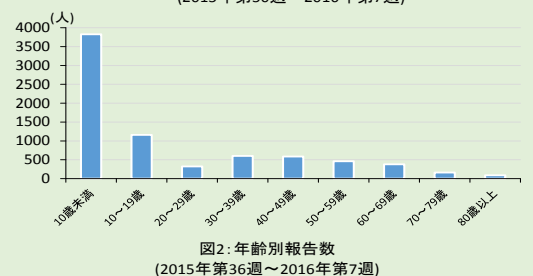
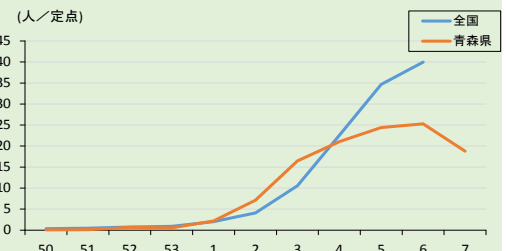
国及び青森県によるインフルエンザの流行シーズン入りの報道発表が出されてから1ヶ月余り経ちました。全国の保健所地域で第6週現在、警報レベルを超えているのは377箇所(46都道府県)であり、注意報レベルを超えているのは159箇所(44都道府県)でした。

県内では、第7週現在、警報が東地方+青森市保健所、八戸保健所、むつ保健所管内で、また、注意報が五所川原保健所、上十三保健所管内で継続しています。今後の発生動向に注意が必要です。

2015/16シーズン(2015年第36週~2016年第35週)における最近の発生動向を見ると、青森県の定点当たり報告数が2016年第1週~第3週(1/4~1/24)の期間で全国を上回る数値でしたが、第4週(1/25~1/31)以降は全国を下回っています(図1)。

また、今シーズン第7週までに県内で報告されたインフルエンザ患者7586人の型別を迅速診断キットで調べた結果、A型が6893人(約91%)、B型が501人(約7%)でした。なお、県内患者の年齢別報告数では、10歳未満が3826人(約50%)で最も多く、10歳~19歳の1159人(約15%)が続き、20歳未満が大半を占めました(図2)。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近の5週間(2016年第2週~第6週)では、AH1pdm09の検出割合が多く、次いでB型、AH3亜型の順でした。青森県のインフルエンザ患者からもAH1pdm09が検出されています(IV病原体検出情報を参照)。【参考】厚生労働省HP、青森県感染症発生情報2016年第2週報



## V 県内インフルエンザ情報

第7週の患者報告数は1220人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1183人【A型：1024人、B型：158人、A型及びB型陽性：1人（八戸保健所管内）】でした。

**警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点**

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

### 保健所管内別届出人数 (人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7
保健所名															
東地方					2					4	2	7	5	6	7
弘前			1			1	8	9	32	62	194	195	212	222	130
八戸							2	3	37	217	396	490	399	310	190
五所川原								6	14	38	84	84	125	163	119
上十三		1			1			1	16	35	89	178	232	264	251
むつ						2	11	2	6	24	40	86	159	197	241
青森市					1	5	23	14	37	83	264	328	455	481	282
合計	0	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368	1587	1643	1220

### A型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7
保健所名															
東地方					1					4	2	7	5	6	6
弘前			1			1	8	9	32	61	193	194	208	218	124
八戸							2	3	34	215	377	467	354	282	168
五所川原								6	14	37	84	82	125	160	117
上十三		1			1			1	14	34	80	159	202	208	211
むつ						2	11	2	6	22	36	60	98	144	163
青森市					1	5	23	12	37	82	252	307	422	453	236
合計	0	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276	1414	1471	1025

### B型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7
保健所名															
東地方					1										1
弘前										1	1	1	4	4	6
八戸									3		6	10	10	10	8
五所川原												2		3	2
上十三									2	1	8	16	22	46	26
むつ										2	4	26	61	53	78
青森市								2		1	6	9	11	16	38
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64	108	132	159

### 年齢区分別(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7
～5ヶ月											3	3	5	7	7
～11ヶ月									4	7	13	12	26	35	18
1歳							1	2	5	23	47	77	82	75	64
2歳							1	4	3	16	47	65	89	78	58
3歳							1	1	1	17	50	73	90	80	53
4歳								1	8	25	63	116	94	94	76
5歳							1	2	5	23	76	122	89	111	95
6歳							1	1	3	29	70	96	107	101	64
7歳					1	2	6	1		13	72	72	103	101	71
8歳							4	1	3	14	66	55	87	54	57
9歳						1	3		2	7	58	64	79	59	54
10～14歳					2		4	1	4	29	99	145	220	201	154
15～19歳					1	4	11	3	9	18	42	51	64	68	28
20～29歳							1	2	10	35	39	48	57	78	52
30～39歳		1					3	6	20	47	68	95	105	157	100
40～49歳						1	4	3	18	60	92	103	104	116	84
50～59歳							2	2	22	45	65	71	87	91	76
60～69歳							1	3	18	32	58	61	57	80	69
70～79歳			1					1	5	14	27	26	27	33	27
80歳以上								1	2	9	14	13	15	24	13

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第50週～2016年第7週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
50	H27.12.7 ~ H27.12.13		侵襲性肺炎球菌 感染症1人			カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人	アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	デング熱1人	E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 梅毒1人			
7	H28.2.15 ~ H28.2.21				E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第50週～2016年第7週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
50	H27.12.7 ~ H27.12.13	2					
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1		1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	5	1			
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	1					1
7	H28.2.15 ~ H28.2.21	2		1	1		

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注:発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第6週累計)

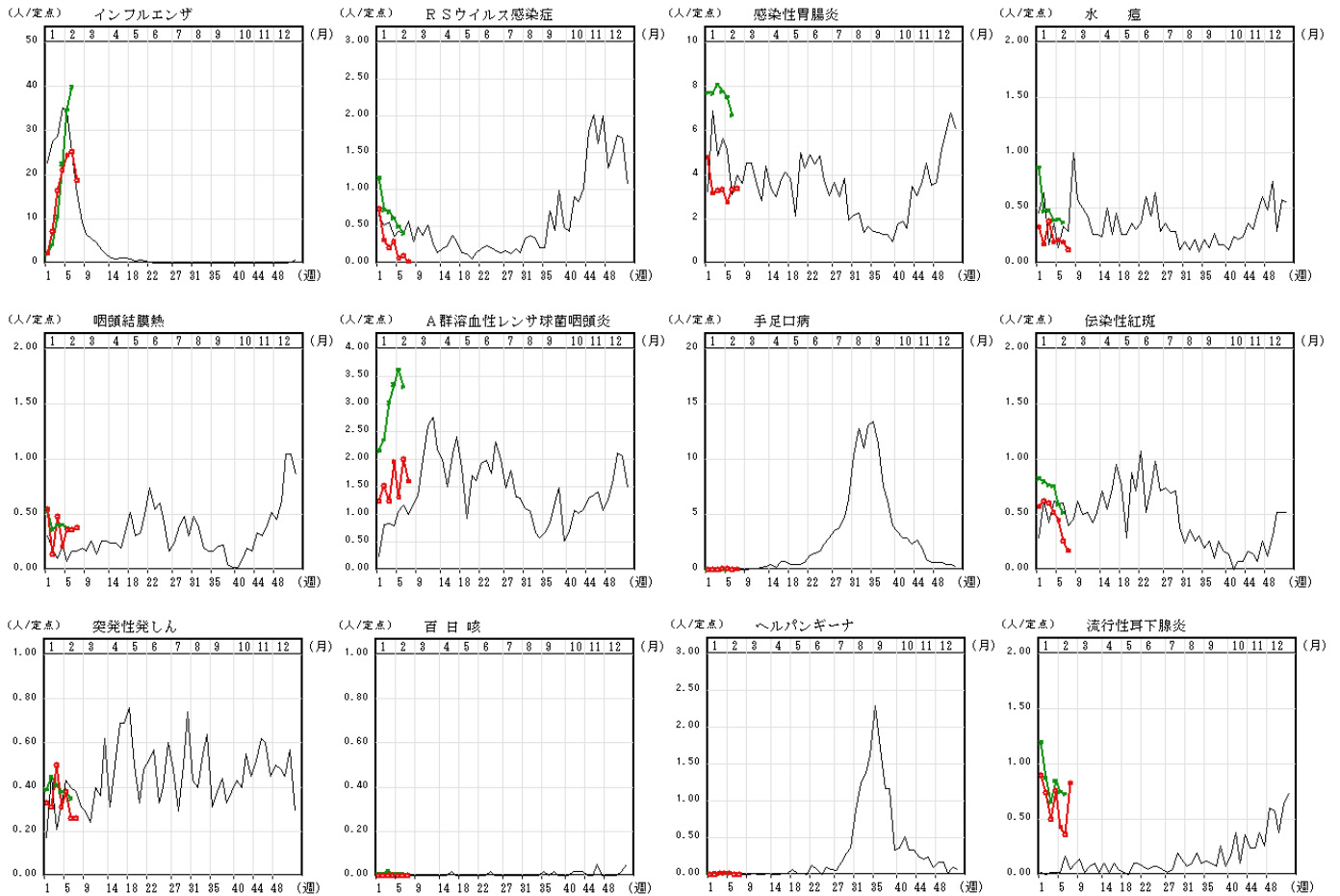
分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類		
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸 菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス 症	回帰熱	重症熱性血小 板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝 炎	カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症	急性脳炎	クロイツフェル ト・ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 健全候群
累積報告数	2277	18	82	7	2	45	31	1	1	1	30	33	1	2	130	1	145	23	160	118	25	67	145
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性イン フルエンザ感 染症	侵襲性髄膜炎 菌感染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	各種性クリフ トコックス症	破傷風	バンコマイシ ン耐性腸球菌 感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシ ネトバクテ リア感染症											
累積報告数	8	37	5	335	32	369	14	6	4	6	2	4											

青森県 (2016年第1週～第7週累計)

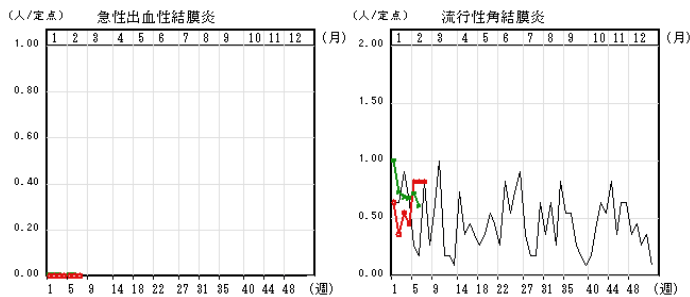
分類	二類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム 耐性腸内細菌 科細菌感染症	クロイツフェル ト・ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	35	4	1	1	1	5	1	1	1	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第7週、但し全国は前週)

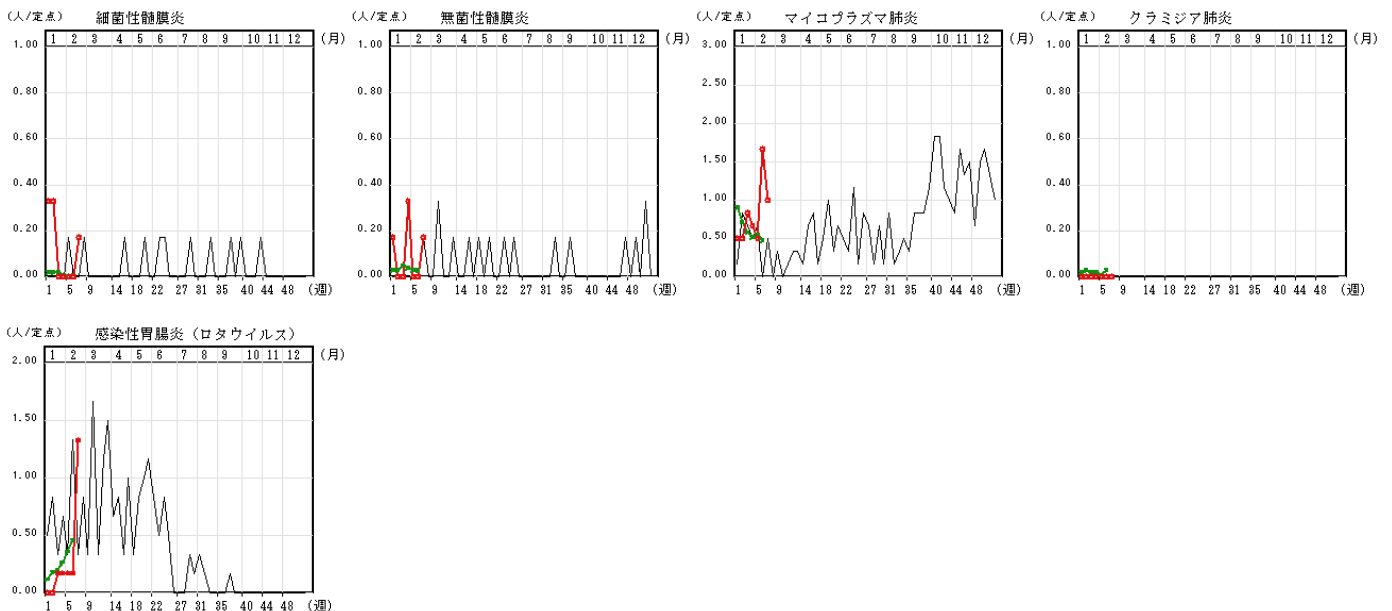
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第7週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第7週、但し全国は前週)



### XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

#### 平成28年第7週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第7週	児童・婦人関係施設等	16	弘前保健所

#### 平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月				2月		計 (施設別)
		1-4週	5週	6週	7週	5週	6週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0			1
	発症者数	0	19	0	0			19
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	1			1
	発症者数	0	0	0	16			16
障害関係施設	件数	0	0	0	0			0
	発症者数	0	0	0	0			0
その他施設	件数	0	0	0	0			0
	発症者数	0	0	0	0			0
計(月別)	件数	0	1	0	1			2
	発症者数	0	19	0	16			35